

研究区分：教育改革を志向した研究

鍼及び灸の基礎技術に関する学習教材（動画コンテンツ）の作成

吉田 行宏

鍼灸学部 鍼灸学科

目的

はり師・きゅう師養成施設において臨床教育の充実が求められるなかで、鍼灸技術の基礎実習では効率良く技術を習得することが望まれる。しかし、技術習得を目指す学生と指導する教員とも限られた時間の中で実施せざるを得ないのが実情であることから、学習効果の高い教材が必要である。そこで、鍼灸の基礎技術動画を作成して実習に導入し、その効果をアンケートで評価した。

方法

鍼技術に関する動画として、両手挿管、片手挿管、刺鍼の流れ～抜鍼、連続刺鍼～抜鍼などの動画を作成した。灸技術に関する動画として、施灸一連の流れ、艾炷への着火方法、八分灸、大豆大知熱灸などの動画を作成した。作成した動画は Google Classroom に公開し、基礎実習対象の 1, 2 年生が常に視聴できる状態とした。授業期間終了後に、同意した 1 年生 (46 名), 2 年生 (38 名) の計 84 名を対象に、学習効果等についてのアンケート調査を実施した。

結果

アンケートの回収率は 76.2% で、そのうち動画視聴をした者は 79.7%, していない者は 20.3%であった(図1)。「視聴のタイミング」の結果を図2に示す。「技術習得に貢献したか」、「技術に対する理解を深めたか」、「予習に役立ったか」、「復習に役立ったか」に対する回答を図3に示す。「授業内のみの実技供覧とオンデマンド動画で理解しやすいと思うものはどれですか」に対する結果を図4に示す。「動画の長さはどのくらいが適当か」の結果を図5に示す。「動画の視点で効果的だと思うもの」の結果を図6に示す。メリットに関する自由記述では、「何度も見直せる」、「見たい時に見れる」、デメリットは「その場で質問ができない」、「見る角度が限定される」といった意見が多かった。

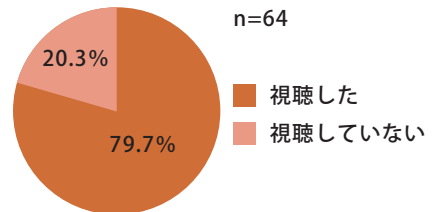


図1 動画視聴の有無

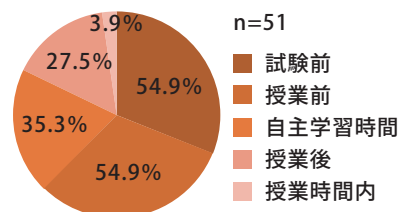


図2 視聴のタイミング

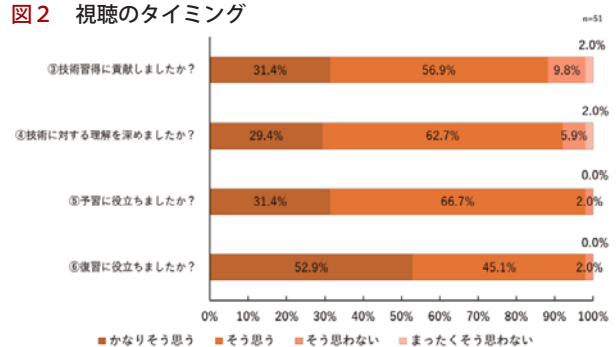


図3 技術取得や理解、予習・復習への貢献

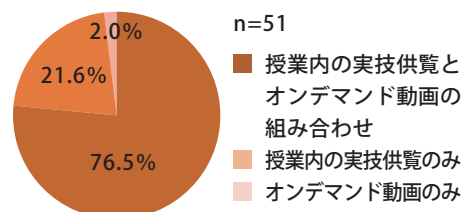


図4 理解しやすいと思うもの

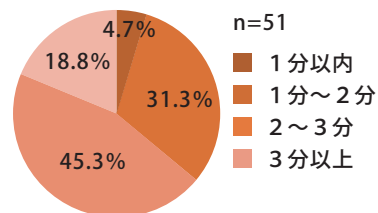


図5 基礎技術動画の適当な長さ

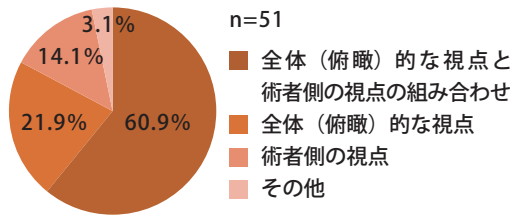


図6 動画の視点で効果的だと思うもの

考察

今回導入したオンデマンド動画は、約9割の学生で基礎技術の習得に貢献した。しかし、動画のみで成り立つものではなく、実技供覧を含む授業との組み合わせが重要で、動画の見せ方の工夫や質問への対応と合わせて実施することがより高い教育効果につながると考えた。

結語

鍼灸の基礎技術に関するオンデマンド動画は技術習得に貢献した。

論文及び学会発表

第70回（公社）全日本鍼灸学会学術大会福岡大会において発表。